

## 2030年理念・ビジョン第2回定性アンケート報告

### 1. 実施方法

- 実施時期：2023年10月2日（月）～22日（日）
- アンケート媒体：週刊コープみえ42号（10月2日～配布）、HP、eフレンズ
- アンケート集計：Googleフォームを使用し、WEBでの回答を集計  
紙での回答は手集計

### 2. 総回答数と回答媒体

総回答数は1,411件でした。本年2月に実施の第1回の回答数1,991件から580件の減少、前年比70.9%となっています。減少の明確な原因はわかりませんが、本アンケート実施と宅配事業推進課の「利用者アンケート」の時期が重複したこと、同アンケートとの兼ね合いでe\*フレンズでのバナーの貼付が開始週にできなかったことは減少要因であった可能性があります。

回答媒体の内訳は以下です。WEBでの回答率は25%弱で、4人に1人ぐらいの割合です。全体の回答に占めるWEB回答の割合は、前回から+0.4%とわずかに増えています。

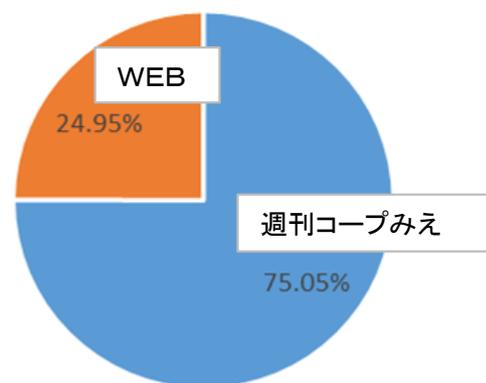
紙媒体での回収は、WEBと比較して前回より減少幅が大きくなっています。前は夕食宅配利用者に週刊コープみえの配布がなかったために、専用の紙媒体で案内したことでアンケートの存在がわかりやすく、今年度は夕食宅配利用者にも週刊コープみえが毎週配布されるようになり、その週刊コープみえを活用したことで、夕食宅配利用者にアンケートの存在が認知されにくかった可能性があります。今回、利用業態の調査はしていませんが、前回夕食宅配利用者で特徴的な傾向が出ていたビジョン1の設問3)や設問5)の回答の変化から、夕食宅配利用者の回答が減少していることが考えられます。

#### 《回答数》

	2023年度	2022年度	前年比	前年差
総回答数	1,411	1,991	70.9%	-580

#### 《回答媒体別》

	2023年度	2022年度	前年比	前年差
紙回答	1,059	1,503	70.5%	-444
紙比率	75.1%	75.5%	99.4%	-0.4%
WEB回答	352	488	72.1%	-136
WEB比率	24.9%	24.5%	101.8%	0.4%



### 3. 回答年代

回答の年代別では、70歳代以上が40%を超えて最も多くなっています。次いで60歳代、50歳代と続きます。60歳代以上で74%弱となり、およそ4人に3人は60歳代以上です。50歳代以上では88%以上となっています。40歳代以下は12%を切っており、年代構成が

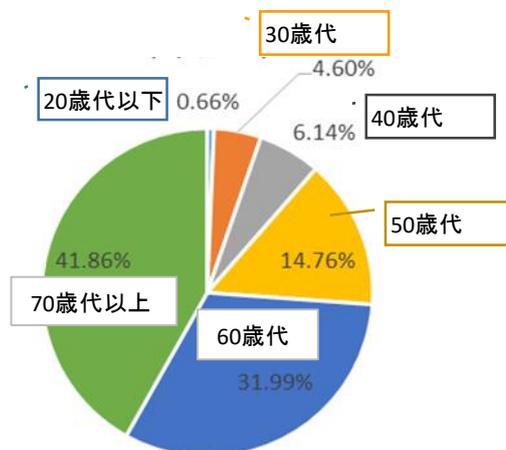
らは、いわゆる子育て世代からの回答は十分反映できていない結果となりました。

比較対象の登録年代は利用者ではなく、全組合員の登録から割り出した比率ですが、それと比較しても、著しい「老高若低」の状況でした。

若年層からの回答を増やしていく事が、本アンケートの今後の大きな課題です。

#### 《年代別》

	回答年代	登録年代
20歳代以下	0.66%	2.44%
30歳代	4.60%	12.63%
40歳代	6.14%	20.30%
50歳代	14.76%	21.29%
60歳代	31.99%	16.19%
70歳代以上	41.86%	27.16%
有効回答計	100.00%	100.00%



#### 《年代別回答媒体》

	WEB	紙
20歳代以下	66.7%	33.3%
30歳代	76.2%	23.8%
40歳代	54.8%	45.2%
50歳代	44.1%	55.9%
60歳代	25.3%	74.7%
70歳代以上	9.1%	90.9%
全年代	24.9%	75.1%

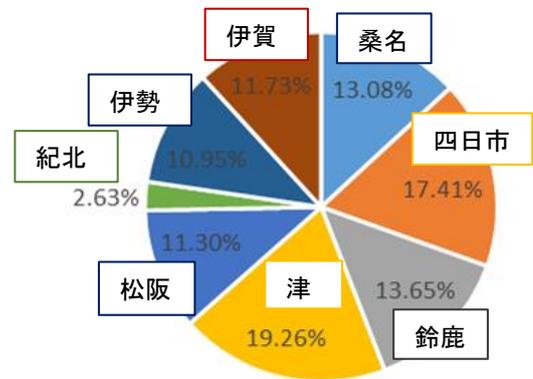
#### 《地域別回答年代》

	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上
桑名	1.1%	5.1%	7.9%	15.2%	25.8%	44.9%
四日市	0.9%	6.0%	5.2%	14.2%	30.0%	43.8%
鈴鹿	0.0%	3.7%	5.8%	16.3%	37.4%	36.8%
津	0.4%	4.9%	6.0%	12.1%	34.3%	42.3%
松阪	1.3%	1.9%	4.5%	16.1%	32.3%	43.9%
紀北	0.0%	6.5%	6.5%	19.4%	29.0%	38.7%
伊勢	1.3%	6.7%	9.3%	21.3%	31.3%	30.0%
伊賀	0.0%	2.5%	5.0%	10.1%	29.6%	52.8%
全地域	0.7%	4.6%	6.1%	14.8%	32.0%	41.9%

#### 4. 回答地域

回答の地域別では、津がもっとも多く、宅配利用率（11 月度まで利用者数の比率）と比較しても、かなり多い回答数となっています。

	地域比率	宅配利用率
桑名	13.08%	14.75%
四日市	17.41%	17.12%
鈴鹿	13.65%	13.73%
津	19.26%	15.95%
松阪	11.30%	11.96%
紀北	2.63%	5.68%
伊勢	10.95%	10.02%
伊賀	11.73%	10.80%
有効回答計	100.00%	100.00%



年代と地域は、今回のアンケートからの集計となっています。今後経年変化を見ていきます。

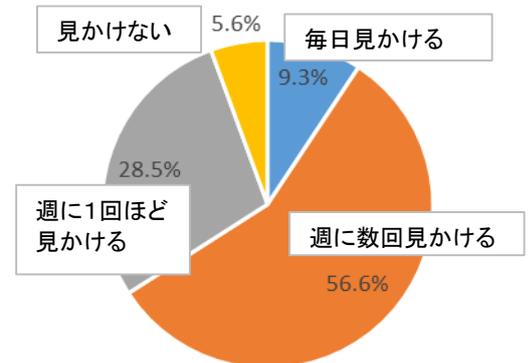
#### 5. アンケート分析

### (1) ビジョン1：安心して暮らし続けられる地域社会づくりをすすめます。

#### 設問1) お住いの地域でコープみえのトラックを毎日みかけますか？

目標) すべての地域で組合員が事業と活動に参加しています。

	2023 年度	2022 年度	前年差
毎日見かける	9.3%	11.0%	-1.7%
週に数回見かける	56.6%	50.4%	6.3%
プラス評価	65.9%	61.3%	4.6%
週に1回ほど見かける	28.5%	30.4%	-1.8%
見かけない	5.6%	8.3%	-2.7%
マイナス評価	34.1%	38.7%	-4.6%
無回答	0.6%	0.8%	-0.1%

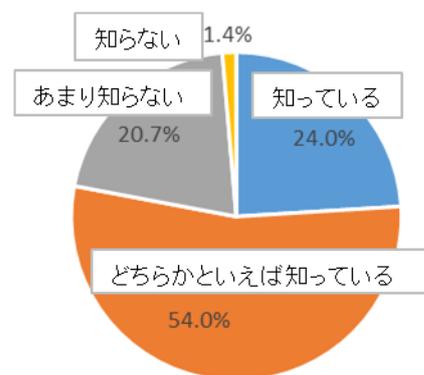


- ・地域におけるコープみえの浸透度を計る指標としての設問です。
- ・最も多かった「週に数回見かける」という方は前年より 6.3%の増加となり過半数を占めています。そのため「毎日見かける」という方は減りましたが、「週に数回見かける」以上の**プラス評価は 4.6%の増加**です。「見かけない」という方は-2.7%で、地域でのトラックの認知度は、総体的に向上しています。**何らかの場面で週に1回以上見かけられる方は 94.4%と高い比率**になっています。

#### 設問2) 地元の野菜・食品にどのようなものがあるか知っていますか？

目標) 地元メーカー・生産者を通して産業と地域の活性化を図ります。

	2023 年度	2022 年度	前年差
知っている	24.0%	23.1%	0.9%
どちらかといえば知っている	54.0%	50.3%	3.6%
プラス評価	78.0%	73.4%	4.5%
あまり知らない	20.7%	23.7%	-3.1%
知らない	1.4%	2.8%	-1.5%
マイナス評価	22.0%	26.6%	-4.5%
無回答	0.9%	0.7%	0.1%

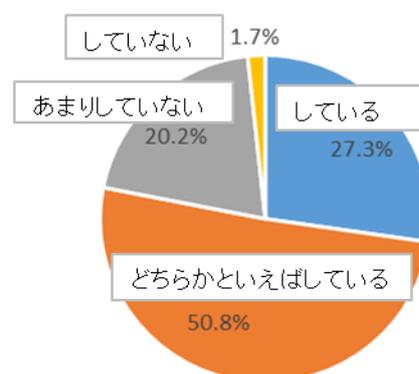


- ・組合員が地域の食品、生産物をどのくらい意識しているかの指標を知る設問です。
- ・「知っている」「どちらかといえば知っている」はともに増え、プラス評価は前年から 4.5% 増えて 78%となり、10 人に 8 人は地域でどんな野菜や食品が作られているかをある程度把握され、興味をもっています。
- ・「知らない」、「あまり知らない」というマイナス評価は減りました。この結果にコープみえの取組（商品・くらしの活動交流会や生協キッチン、産地交流の再開）が影響を与えているかは把握できておりませんが、ビジョン 1 の目標に沿った良好な結果となっています。

### 設問 3) 普段地産地消を意識して買い物していますか？

目標) 地元メーカー・生産者を通して産業と地域の活性化を図ります。

	2023 年度	2022 年度	前年差
している	27.3%	27.1%	0.1%
どちらかといえばしている	50.8%	43.8%	7.0%
プラス評価	78.1%	70.9%	7.1%
あまりしていない	20.2%	24.9%	-4.6%
していない	1.7%	4.2%	-2.5%
マイナス評価	21.9%	29.1%	-7.1%
無回答	0.8%	0.8%	0.0%

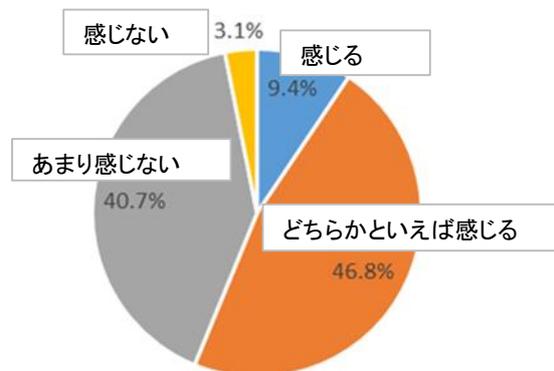


- ・組合員が地場商品を意識して利用をしているかの指標を知る設問です。
- ・設問 2) と同じ目標の問いであり、連動した回答となっている方が多くみえました。そのため、「している」、「どちらかといえばしている」のプラス評価は大きく増えており、78%の方が少なからず地場産を意識した購入活動をされています。
- ・地場産品の利用にあまりこだわっていないマイナス評価の方は前回調査では 30%近くみえましたが、今回は 21.9%と大きく減少しました。前回夕食宅配紙回答者ではマイナス評価が 43.4%と高く、買い物が困難であったり、経済的なことから、あまりこだわってられないのではないかとという仮説をたてました。この仮説が正しいのかは証明されていませんが、紙回答が減少していることと因果関係があるのではないかと推察します。

**設問4) 県内の生活協同組合が連携して、SDG s など社会をよくする取り組みがひろがっていると感じますか？**

目標) 各協同組合の強みを出し合って、SDG s の実現をめざします。

	2023 年度	2022 年度	前年差
感じる	9.4%	11.0%	-1.6%
どちらかといえば感じる	46.8%	40.0%	6.8%
プラス評価	56.2%	51.0%	5.2%
あまり感じない	40.7%	43.2%	-2.5%
感じない	3.1%	5.8%	-2.7%
マイナス評価	43.8%	49.0%	-5.2%
無回答	2.9%	2.8%	0.1%

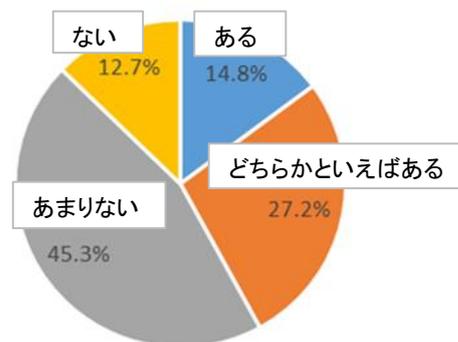


- ・協同組合間連携を通じてのSDG s 推進が実感出来ているかを知る設問です。
- ・前回は「あまり感じない」という方が最も多かったのですが、今回は「どちらかといえば感じる」が上回っています。マイナス評価は5.2%減り、プラス評価の方が明らかに上回りつつあります。
- ・商品・くらしの活動交流会への医療生協や全労災の参加、みやがわ店での健康祭りの開催など、連携が目に見える形で確認できる機会が増えてきています。

**設問5) あなたが気軽に参加できる集いの場が地域にありますか？**

目標) すべての地域で組合員が事業と活動に参加しています。

	2023 年度	2022 年度	前年差
ある	14.8%	16.2%	-1.4%
どちらかといえばある	27.2%	23.2%	4.0%
プラス評価	42.0%	39.4%	2.6%
あまりない	45.3%	42.1%	3.1%
ない	12.7%	18.5%	-5.7%
マイナス評価	58.0%	60.6%	-2.6%
無回答	1.5%	1.2%	0.3%



- ・組合員が地域社会で参加できる場があるかを確認する設問です。
- ・前回に続き「あまりない」が最も多く今回も増えていますが、「ない」と回答された方が大きく減ったことで、マイナス評価も2.6%減っています。ただ、まだ6割ぐらいの方が、地域社会で参加できる場所をあまり持たない状況は続いています。
- ・年代別では高齢者の方が集いの場があると答えた方が多いように感じていましたが、50歳代で「ある」と答えた方が少なくなっています。50歳代で子どもの学校のつながりが一旦なくなるなどの要因があるのかもしれません。70歳代以上はほぼ半数がなんら

かの場所があるとの回答になっており、退職後に地域のコミュニティに参加するなど、年代によって地域でのつながりに変化が出ている可能性があります。

#### <年代別回答状況>

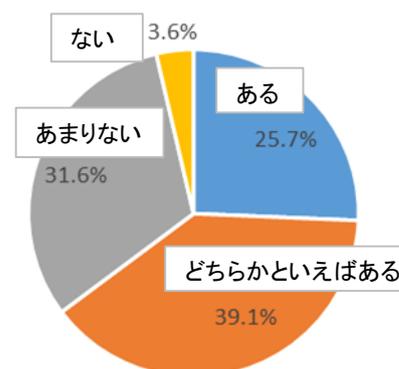
	ある	どちらかといえ ばある	プラス評価	あまりない	ない	マイナス 評価
20 歳代以下	0.0%	22.2%	22.2%	44.4%	33.3%	77.8%
30 歳代	11.1%	30.2%	41.3%	44.4%	14.3%	58.7%
40 歳代	9.5%	23.8%	33.3%	52.4%	14.3%	66.7%
50 歳代	5.4%	29.7%	35.1%	48.5%	16.3%	64.9%
60 歳代	9.4%	30.5%	39.9%	50.7%	9.4%	60.1%
70 歳代以上	23.4%	24.6%	48.0%	39.0%	12.9%	52.0%

- ・フリー回答では、前回多かった「地域が閑散としている」とか「誰も外で見かけない」といった回答はなく、「金銭面や役務の関係から自治体からの脱退が多く地域のまとまりがない（四日市）」「アパート住まいになってから、近くの人たちとのつながりは全く感じない（桑名）」「地域も今だけいる場所と思っているので、関わる事が無い（鈴鹿）」といった生活やライフスタイルの変化に伴う意識の変化が書かれています。
- ・また、「地域で集える場所があれば活動を後押しできる。店はその一角となる（四日市）」や「自治体や近所でのグループづくりの推奨や職場などでのグループ配達の推奨（津）」など、コープみえの事業による新しいつながりづくりへの期待も寄せられています。

#### 設問6) 平和について考える機会がありますか？

目標) 世界平和の実現に貢献します。

	2023 年度	2022 年度	前年差
ある	25.7%	30.3%	-4.7%
どちらかといえ ばある	39.1%	35.6%	3.5%
プラス評価	64.8%	65.9%	-1.1%
あまりない	31.6%	28.0%	3.6%
ない	3.6%	6.1%	-2.4%
マイナス評価	35.2%	34.1%	1.1%
無回答	0.6%	0.7%	-0.1%



- ・組合員の平和への意識につき確認する設問です。
- ・「どちらかといえあればある」が最も多いのは前回と同じですが、今回は「あまりない」が「ある」を上回りました。プラス評価は減り、マイナス評価が増えています。ロシアによるウクライナ侵攻は発生から1年半以上が経過していましたが、ハマスによるイスラエルへの攻撃開始が10月7日にあり、この項目は増えるのではないかと考えていました。配布時期がもう1週間遅ければ、また違う結果となっていたかもしれませんが、

他国での紛争につき、ある意味感覚が麻痺してきている状況があるのかもしれませんが。

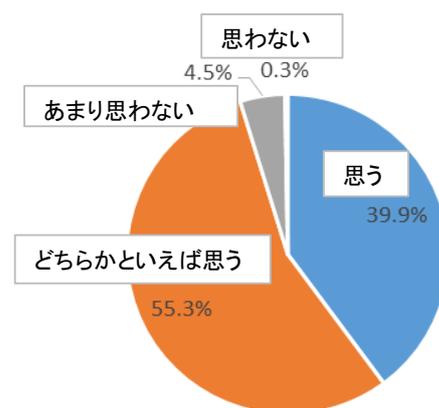
- ・フリー回答での平和に関する記載も減ってきています。その中で「紛争国の一方を支援するのは、本邦が戦争に巻き込まれるので避けるべき（四日市）」という意見や「平和を享受してきた私たちの世代は、平和のバトンを次の世代に渡す責任がある（鈴鹿）」という意見が印象に残りました。

## （２）ビジョン２：よりよい「食と健康」の暮らしをめざします。

### 設問１）コープみえが安全・安心なものをお届けできていると思いますか？

目標）安全・安心なものを手に取りやすい価格でお届けします。

	2023 年度	2022 年度	前年差
思う	39.9%	45.0%	-5.1%
どちらかといえば思う	55.3%	50.2%	5.2%
プラス評価	95.2%	95.2%	0.0%
あまり思わない	4.5%	4.2%	0.3%
思わない	0.3%	0.6%	-0.3%
マイナス評価	4.8%	4.8%	0.0%
無回答	0.6%	1.0%	-0.4%



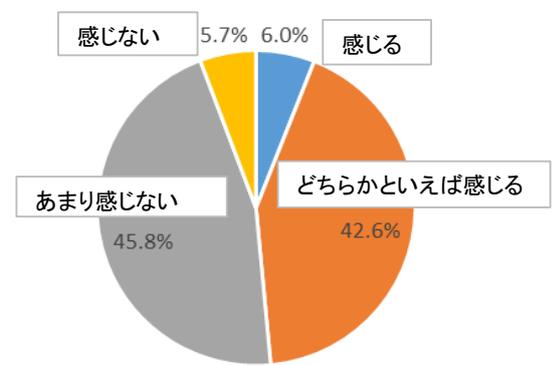
- ・組合員がコープみえが取り扱う商品に安全性、安心感を感じているかを知る設問です。
- ・プラス評価は95.2%と前年と同数値で大半を占めますが、「思う」と積極的に評価する方は5.1%減りました。マイナス評価も前回と同じ4.8%です。
- ・フリー回答では、前回少なからずあった「コープみえは安全性重視から簡便性重視にシフトしているのではないか」という意見は減り、「遺伝子組み換え食品やネオニコチノイド農薬への不安」や「残留農薬の情報」など、具体的な情報開示や取り扱い基準への要望や期待を書かれる方が増えました。このような要望を書かれる方がマイナス評価をされているということは必ずしもなく、安全性、安心感への期待を感じました。「コロナで色んなことを不安に思う中、コープの食品提供は安全・安心と感じ、心強かった（松阪）」という、安心感を評価いただいた意見もありました。

### 設問２）地域の子どもたちがバランスの良い満足した食事をしていて感じますか？

目標）子どもたちへ安定した食事と健康を提供します。

	2023 年度	2022 年度	前年差
感じる	6.0%	6.7%	-0.7%

どちらかといえば感じる	42.6%	42.7%	-0.1%
プラス評価	48.5%	49.4%	-0.9%
あまり感じない	45.8%	43.7%	2.1%
感じない	5.7%	6.9%	-1.2%
マイナス評価	51.5%	50.6%	0.9%
無回答	10.8%	10.0%	0.8%



- ・地域の子どもたちの食と健康の豊かさを計る設問です。
- ・無回答が前回等の 10.8%あり、前回の 9.9%から若干増えています。子どもが居ない世帯なのでわからないという記入が多く、無回答の多さはこの設問の傾向となっていますが、40 歳代以下は無回答はなく、70 歳代以上で 19.5%の無回答となっています。
- ・年代別で見ると、40 歳代以下と 50 歳代以上で大きく回答内容が変わってきます。40 歳以下ではプラス評価が 58.3%あり、日々子育てに関与しているであろう年代層では、良好な評価をされている方が多いようです。

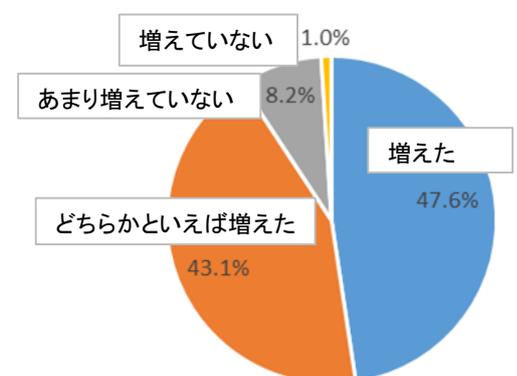
#### <年代別回答状況>

	思う	どちらか	プラス	あまり	思わない	マイナス	無回答
20 歳代以下	11.1%	22.2%	33.3%	66.7%	0.0%	66.7%	0.0%
30 歳代	7.9%	49.2%	57.1%	36.5%	6.3%	42.9%	0.0%
40 歳代	8.3%	53.6%	61.9%	33.3%	4.8%	38.1%	0.0%
40 歳代以下	8.3%	50.0%	58.3%	36.5%	5.1%	41.7%	0.0%
50 歳代	5.2%	43.8%	49.0%	45.9%	5.2%	51.0%	4.0%
60 歳代	3.2%	42.0%	45.1%	50.2%	4.6%	54.9%	5.9%
70 歳代以上	8.2%	39.0%	47.3%	45.8%	6.9%	52.7%	19.5%
50 歳代以上	5.7%	41.0%	46.8%	47.5%	5.7%	53.2%	12.0%

#### 設問 3) 健康について考える機会が増えましたか？

目標) 全ての人が健康的な生活を送るための情報を提供します。

	2023 年度	2022 年度	前年差
増えた	47.6%	48.4%	-0.7%
どちらかといえば増えた	43.1%	42.7%	0.4%
プラス評価	90.8%	91.1%	-0.3%
あまり増えていない	8.2%	7.6%	0.6%
増えていない	1.0%	1.3%	-0.3%
マイナス評価	9.2%	8.9%	0.3%
無回答	1.1%	1.0%	0.1%



- ・組合員の健康への関心の強さを聞く設問です。

- ・「増えた」が 47.6%でほぼ半数、「どちらかといえば増えた」を合わせると 90.8%となり、前回同様 9 割強の方が健康への関心が増したと回答しています。
- ・年代別を見ると、30 歳代と 40 歳代で明確な変化があり、40 歳代が健康への意識が大きく変わる年代であることがわかります。40 歳代は 50 歳代、60 歳代よりも「思う」と回答された方が多く、特に強く意識をする年代であると感じました。

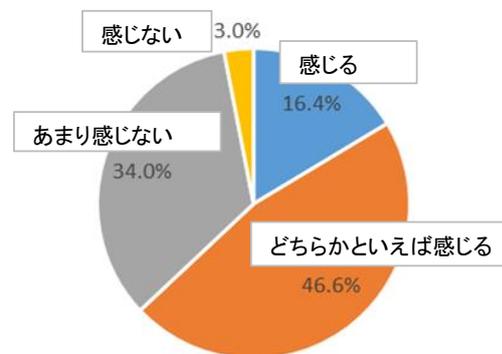
<年代別回答状況>

	思う	どちらか	プラス	あまり	思わない	マイナス
20 歳代以下	22.2%	55.6%	77.8%	22.2%	0.0%	22.2%
30 歳代	30.2%	49.2%	79.4%	15.9%	4.8%	20.6%
40 歳代	48.8%	45.2%	94.0%	4.8%	1.2%	6.0%
40 歳代以下	39.7%	47.4%	87.2%	10.3%	2.6%	12.8%
50 歳代	44.6%	46.5%	91.1%	8.9%	0.0%	8.9%
60 歳代	44.5%	46.6%	91.1%	8.3%	0.7%	8.9%
70 歳代以上	53.8%	37.3%	91.1%	7.8%	1.1%	8.9%
50 歳代以上	48.9%	42.2%	91.1%	8.2%	0.8%	8.9%

設問 4) 食べ物の大切さを意識する気持ちが社会にひろがっていると感じますか？

目標) 食品ロスを減らす仕組みをつくります。

	2023 年度	2022 年度	前年差
感じる	16.4%	20.5%	-4.1%
どちらかといえば感じる	46.6%	46.6%	0.0%
プラス評価	63.0%	67.1%	-4.1%
あまり感じない	34.0%	29.7%	4.3%
感じない	3.0%	3.2%	-0.1%
マイナス評価	37.0%	32.9%	4.1%
無回答	2.1%	1.7%	0.3%



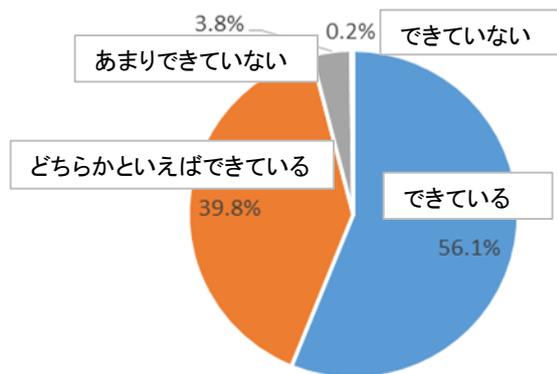
- ・食べ物を大切にする意識が社会的に広がっているか、高まっているかを計る設問です。
- ・プラス評価が 4.1%減りましたが、まだ 63%の方が食べ物を大切にする気持ちが社会的に広がってきていると感じています。
- ・年代別では 40 歳代はプラス評価が 71.1%と最も高い反面、30 歳代は 55.6%と最も低くなっています。このあたりの変化の背景を知りたいところです。
- ・フリー回答では、「コンビニで手前どりの案内があり、奥から取っていたが、手前から取るようになった (四日市)」と実践されている方がいました。

(3) ビジョン 3 : すべての人への配慮や思いやりを大切にします。

### 設問 1) コープみえの商品やサービスを気持ちよく利用できていますか？

目標) だれもが利用しやすい仕組みをつくります。

	2023 年度	2022 年度	前年差
できている	56.1%	56.7%	-0.5%
どちらか	39.8%	38.1%	1.7%
プラス評価	95.9%	94.7%	1.2%
あまり	3.8%	4.6%	-0.7%
できていない	0.2%	0.7%	-0.5%
マイナス評価	4.1%	5.3%	-1.2%
無回答	0.5%	0.8%	-0.3%

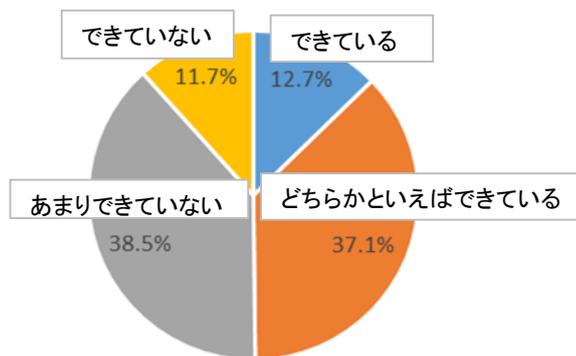


- ・組合員のコープみえのシステムに対する満足度を計る設問です。
- ・プラス評価が 1.2% 増えました。マイナス評価は 4.1% で、20～30 歳代で 11%、40～50 歳代で 6%、60 歳代以上で 3.1% と、年代が上がるにつれ、減っています。
- ・フリー回答では、「地域に買い物できる場所がないので、生協に感謝（鈴鹿）」や「生活必需品が届く便利で安心な日々感謝（四日市）」「近くの商店が 2・3 年以内に閉店するので、生協に期待している（松阪）」「高齢になり宅配はありがたい（松阪）」など、宅配や夕食宅配を支持し、期待する声がありました。

### 設問 2) 自らすすんで地域の人に声かけができていますか？

目標) 気持ちがよいあいさつを心がけ「まち」の治安に貢献します。

	2023 年度	2022 年度	前年差
できている	12.7%	11.2%	1.5%
どちらかといえばできている	37.1%	33.2%	3.8%
プラス評価	49.8%	44.5%	5.4%
あまりできていない	38.5%	40.3%	-1.8%
できていない	11.7%	15.2%	-3.5%
マイナス評価	50.2%	55.5%	-5.4%
無回答	1.0%	0.9%	0.1%

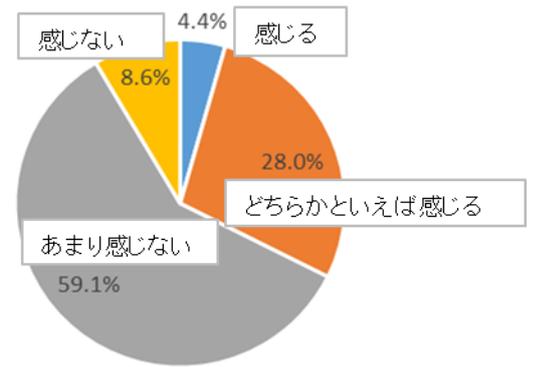


- ・地域で声かけやあいさつを自分からできているかを聞く設問です。
- ・プラス評価が前回から 5.4% 増え、プラスマイナスがほぼ半々となりました。新型コロナウイルス感染症の 5 類移行による外出の増加など、地域での人の交流が少しずつ戻ってきているのではないかと感じます。

### 設問 3) 助け合いの輪がひろがって地域が明るくなったと感じますか？

目標) 地域のつながりをつくることで、地域の困窮へのたすけあいの輪を広げます。

	2023 年度	2022 年度	前年差
感じる	4.4%	4.1%	0.3%
どちらかといえば感じる	28.0%	26.8%	1.1%
プラス評価	32.4%	31.0%	1.4%
あまり感じない	59.1%	57.5%	1.6%
感じない	8.6%	11.6%	-3.0%
マイナス評価	67.6%	69.0%	-1.4%
無回答	2.2%	1.9%	0.3%

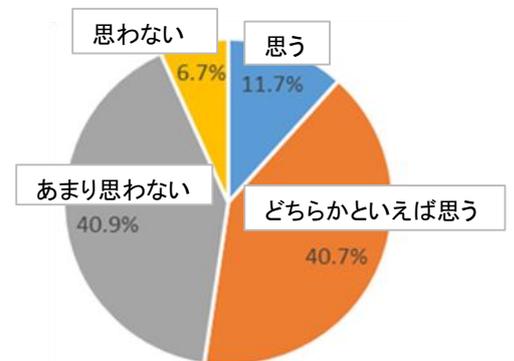


- ・地域で相互扶助の動きが活発化しているかを聞く設問です。
- ・過半数の人が「あまり感じない」と回答し、「感じない」と合わせると **67.6%** になります。前回よりマイナス評価は減っていますが、まだ **3人に2人は地域における相互扶助の広がりを感じていません**。
- ・フリー回答で「一人暮らしの高齢者の移動について気になる。閉じこもりになるのでは（桑名）」「地域で高齢化がすすみ交通手段もない（松阪）」「高齢者はどこへ相談をすればよいかわからない（伊勢）」「子育て世代だけでなく高齢者も助けて欲しい（四日市）」など、**高齢者への心配や高齢への不安を書かれている意見が目立ちました**。「高齢者の集まるイベントも今後あれば良い（鈴鹿）」という提案もありました。
- ・「コープみえだけで実現できることではないので、どう手をつないでいけるか（松阪）」「組合員でない人も対象になる取り組みがあると良い（桑名）」というような、**他組織や組合員以外との広い連携を行うことでビジョンの達成を期待する声**がありました。

#### 設問4) 介護や子育てで悩みを持っている人が困りごとを相談する場が地域にあると思いますか？

目標) 育児、介護で悩んでいる人へのサポートをすすめます。

	2023 年度	2022 年度	前年差
思う	11.7%	13.6%	-1.9%
どちらかといえば思う	40.7%	36.6%	4.1%
プラス評価	52.4%	50.2%	2.2%
あまり思わない	40.9%	40.7%	0.2%
思わない	6.7%	9.1%	-2.4%
マイナス評価	47.6%	49.8%	-2.2%
無回答	2.1%	2.6%	-0.4%



- ・地域で介護や子育てをフォローする場所、機会、機能について聞く設問です。

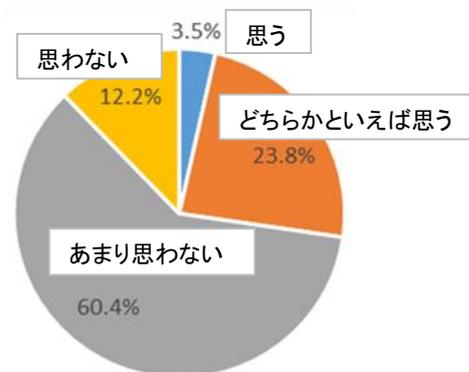
- ・プラス評価が2.2%増えました。脱コロナとの関連性があるか知りたいところです。
- ・地域別では桑名、紀北、伊勢でプラス評価が60%近い反面、鈴鹿、津ではプラス評価が50%を切っています。センターで意識的に強化をしていく課題である可能性があります。

	ある	どちらかといえば ある	プラス評価	あまりない	ない	マイナス評価
桑名	16.1%	42.8%	58.9%	34.4%	6.7%	41.1%
四日市	10.4%	40.7%	51.0%	42.7%	6.2%	49.0%
鈴鹿	7.0%	36.4%	43.3%	50.8%	5.9%	56.7%
津	9.1%	37.7%	46.8%	46.4%	6.8%	53.2%
松阪	11.6%	43.2%	54.8%	34.8%	10.3%	45.2%
紀北	13.5%	45.9%	59.5%	35.1%	5.4%	40.5%
伊勢	19.2%	43.0%	62.3%	33.8%	4.0%	37.7%
伊賀	11.2%	42.9%	54.0%	38.5%	7.5%	46.0%

**設問5) ジェンダーや障がいを感じせず、あらゆる人が活躍できる社会になっていると思いますか？**

目標) ジェンダー平等、障がいのある人をはじめ、あらゆる人が活躍できる場所をつくり  
ます。

	2023 年度	2022 年度	前年差
思う	3.5%	3.7%	-0.2%
どちらかといえば思う	23.8%	23.1%	0.7%
プラス評価	27.3%	26.8%	0.6%
あまり思わない	60.4%	58.3%	2.2%
思わない	12.2%	15.0%	-2.7%
マイナス評価	72.7%	73.2%	-0.6%
無回答	1.6%	1.8%	-0.2%



- ・ジェンダーや障がいに対する社会の理解を問う設問です。
- ・「あまり思わない」が60.4%と圧倒的に多く、前回から2.2%増加しています。「思わない」は2.7%減っていますが、マイナス評価は72.7%と依然として高く、社会での理解はまだまだ進んでいないと考えられています。
- ・年代別で見ると、50歳代以上はマイナス評価が押しなべて高く70%を超えています。ただ30歳代も40歳代と比較すると高くなっています。30歳代は「思う」という積極的な肯定評価は高く、「思わない」という否定的な評価は低くなっています。あるいは40歳代が特異な傾向なのかもしれません。ライフステージにおける30歳、40歳代と社会の関わりには、なんらかの影響を与える要素があるのではないかと思います。
- ・フリー記入では前回と比較して多くの意見が上げられており、「障がいを持つ息子が成

人になると地域と関わる場がない（桑名）」「ジェンダー平等やバリアフリーなど課題が多い（津）」「差別やいじめはなくなる。一人一人がどう生きるか考える必要がある（津）」「差別のないみんなが仲良く集まって過ごせる場所が増えたら（松阪）」「差別や偏見のないジェンダーフリーが大事（紀北）」「組織内の男女格差をなくすこと（紀北）」「男女の差別なく尊重しあえる世の中に（伊勢）」「お互いの意見や価値観を尊重しあえる社会になってほしいし、したいと思っている（四日市）」など、前回より関心が高まっていると思われま

	思う	どちらかといえば思う	プラス	あまり思わない	思わない	マイナス
20 歳代以下	11.1%	44.4%	55.6%	33.3%	11.1%	44.4%
30 歳代	6.3%	23.8%	30.2%	60.3%	9.5%	69.8%
40 歳代	2.4%	39.3%	41.7%	41.7%	16.7%	58.3%
40 歳代以下	4.5%	33.3%	37.8%	48.7%	13.5%	62.2%
50 歳代	3.5%	25.4%	28.9%	58.2%	12.9%	71.1%
60 歳代	2.5%	23.4%	26.0%	61.1%	12.9%	74.0%
70 歳代以上	3.8%	21.1%	24.9%	63.8%	11.4%	75.1%
50 歳代以上	3.3%	22.7%	25.9%	61.9%	12.2%	74.1%

## 第 2 回アンケートの傾向

- ・前回調査と比較し、全般的に「思う」「思わない」への評価が減り、「どちらかといえば」「あまり」という中庸な評価が増える傾向がありました。
- ・プラス評価、マイナス評価での前回との比較では、多くの設問でプラス評価が上回っていますが、「平和を考える機会」「子どもたちのバランスの良い食事」「食べ物を大切に  
する意識」ではプラス評価が減りました。「健康への意識」はプラス評価が必ずしも良いという設問ではないので、評価が難しいところです。
- ・地域とのつながりを聞く設問については、全般的にプラス評価となっており、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に薄れ、地域や人同士の交流が増えてきつつあることを感じます。

## <設問別 プラス評価とマイナス評価の推移>

		第 2 回		第 1 回		2 回-1 回差	
		プラス	マイナス	プラス	マイナス	プラス	マイナス
ビジョン1	①トラック	65.9%	34.1%	61.3%	38.7%	4.6%	-4.6%
	②地元農産物	78.0%	22.0%	73.4%	26.6%	4.5%	-4.5%
	③地産地消意識	78.1%	21.9%	70.9%	29.1%	7.1%	-7.1%
	④県内生協	56.2%	43.8%	51.0%	49.0%	5.2%	-5.2%
	⑤集いの場	42.0%	58.0%	39.4%	60.6%	2.6%	-2.6%
	⑥平和	64.8%	35.2%	65.9%	34.1%	-1.1%	1.1%

		第 2 回		第 1 回		2 回-1 回差	
		プラス	マイナス	プラス	マイナス	プラス	マイナス
ビジョン2	①安全・安心	95.2%	4.8%	95.2%	4.8%	0.0%	0.0%
	②バランス良い食事	48.5%	51.5%	49.4%	50.6%	-0.9%	0.9%
	③健康	90.8%	9.2%	91.1%	8.9%	-0.3%	0.3%
	④食べ物大切	63.0%	37.0%	67.1%	32.9%	-4.1%	4.1%
ビジョン3	①商品・サービス	95.9%	4.1%	94.7%	5.3%	1.2%	-1.2%
	②声掛け	49.8%	50.2%	44.5%	55.5%	5.4%	-5.4%
	③助け合いの輪	32.4%	67.6%	31.0%	69.0%	1.4%	-1.4%
	④悩み相談	52.4%	47.6%	50.2%	49.8%	2.2%	-2.2%
	⑤ジェンダー・障がい	27.3%	72.7%	26.8%	73.2%	0.6%	-0.6%

## フリー回答

理念ビジョンに関して感じていることをフリーで回答いただきました。  
おおまかに分類し、類似のものは集約してあります。

### ①理念・ビジョンに対して

- ・理念・ビジョンについては、肯定的な意見を多くいただきました。社会をよくしていこうと前向きに評価してくれている方が多くみえました。コープみえに対する期待の大きさを感じます。
- ・実行計画の具体化を求める声やビジョンがわかりにくいという声、現実との乖離を指摘する声もありました。わかりやすくする工夫が必要です。その上で理解していただき、浸透させていくことの大切さを感じました。

### 理念・ビジョンに対しての評価<好意的・期待>

桑名	実現したらいいと思います
四日市	理想的な理念ではあるがそれが具体的に実現できて行ってくれるとほんとに住みやすくなるなどと思います。ぜひ実現できるといいな。自分も参加していく必要があるんだろうと考えます。
四日市	実際にみんながつながって、笑顔になる社会になれば良いと思う。
四日市	特にビジョン3の実現に期待します
四日市	安心して暮らせる社会づくりを意識されている点を支持したいと思います。
鈴鹿	コープさんは特に、ビジョン2を大事にしてもらいたいと思います。
鈴鹿	良い理念と思います。
鈴鹿	この理念 ビジョンが実現すればいいなと思う
鈴鹿	良いことだと思う
鈴鹿	理念は大事なので到達できるように努力するこの時期がさらに大事だと思います。
鈴鹿	つながりあう・・・というのは、とても大事なことです。笑顔が世界中に広がっていく事を祈りたいです。偏見は周りにいっぱいある。考え方のもとを幼いころから身につけていく事が大事。社会を

	変えていく一歩だと思えます。生協に加入した頃のことを思うと、安全安心に？と不安になる時がある。
津	一人ひとりが少しずつ取り組んでいくことが大事と思うので、自分も協力していきたい。
津	いろいろなことが含まれると思うので、できることからやっていけたらいいと思います
津	3つのビジョンは、どれも今とても求められていると思います。コープみえが私たちの生活になくしてはならない存在になっているとも思います。一個人としても3つのビジョンをいしきて日々過ごしていきたいと思っています。
津	私は意識が低いので(汗) これから COOP を通じて取り組んでいけたら良いと思っています。
津	もっともっとみんなでがんばりましょう。
松阪	すばらしいです。歩いて行けるところにスーパーがなくなったり、近所も年配の一人ぐらしが増えています。「宅配、安心、安全、つながり」が、本当に大切だと特に最近感じています。
松阪	ひとりひとりを大切に の理念に基づき 継続した取り組みの必要性をあらためて感じました。
松阪	コープみえだけで実現できることではないので、どう手をつないでいけるかですね。
紀北	ビジョンに向けた継続的な努力が大事。少しずつ達成に向かうがいいと思う。
伊勢	コープみえの理念・ビジョンに共感します。平安な日々が過ごせることを望みます。
伊勢	個々人が安心&安全な社会を構築していく努力と気持ちを持たなければと、改めて感じました。
伊賀	商品を供給するだけでなく社会を良くするための理念を掲げて活動しているところが良いと思い、コープを続けています。
伊賀	生協としてとても真っ当なビジョンだと思います。今、社会が不寛容だったり不健全だったり、正義はどこへ行ったという出来事が多々ありますが、そういうことに異議申し立てをし、誰もが幸せに暮らせる未来のための仲間がここにいるんだという意思を表明したものだと感じました。単なるお買い物プラットフォームではない生協の存在意義がそこにあると思います。
伊賀	みんなが安心して暮らせる社会、食、健康、人とのつながりなど、とても共感できる事だと思えます。

#### ビジョンに対しての評価<批判的・懐疑的・疑問>

四日市	言うは易く行うは難し・・・なかなかむつかしいです。
四日市	どこの会社や社会でも、理念やビジョンはよく聞かすが、実際にそれらを実行したかどうかの見直し？の報告などを見たり聞いたり読んだりしたことがない。理念ビジョンを立てる以上は、きちんとそれらが実行できているかどうか、たえず検証してほしい。
鈴鹿	理念・ビジョンについて・・・あまり深く理解していないですし、今のところ考える必要を感じていないというのが正直な所です。申しわけありません。
鈴鹿	もう少し具体的だとよい
鈴鹿	なんのことか具体的にわかりません。
津	実現に向けての活動が私達にはまだ伝わって来ない。まだまだ沢山の活動が必要に思う。
津	理念・ビジョンは理解できるが、広報力が弱いと感じる。
松阪	わからない
松阪	そのように出来ればいいと思いますが、難しくも思います
松阪	あまり関心がない

紀北	変化してるかそのままなのかどうなるのかと感じてます。
紀北	具体的ではないので、感想ありません。
伊勢	コープみえの理念・ビジョンを知らない。
伊賀	方向性はわかりますしいと思います...だからこうして行くという具体的な提案がなく、何をどうしていくのが明確に伝わらないと感じます。
伊賀	実現出来れば良いと思う
伊賀	無難な感じ
伊賀	コープみえの理念・ビジョンを全然知りません。
伊賀	広い意味で私の生活には...
未記入	怖い
未記入	スローガンのみに終わらず、地道に頑張りましょう(´ロ`*)
未記入	夢でしかないですね。

#### 食の安全への評価・期待

桑名	安全安心で利用していますが、例えば食パン値上げは理解しますが、美味しいのこだわりも期待している私たちです。生協の商品は、高くてもこだわりの味にも気に入っているのです。
松阪	残留農薬とか電磁波とか、将来健康に悪い病気を引き起こす原因を若者に知らせて欲しいです。また、大陸から風に乗って飛来する放射能や公害を少しでもい予防する取り組みを進められているか？植樹とかetc...効果が出るのに年数がかかります。
松阪	以前から生協さんの商品は安全・安心って思っています。これからもよろしくお願いします。
松阪	将来の食物のことを考えるなら、誰でもが安心安全な物を食べれるように、添加物、農薬の無い物の提供をすすめてほしいと思います。例えばネオニコチノイド等の農薬とか、少量でも、毎日の事となると体内に蓄積されて健康を害するので、市販品ではない生協さんの取り組みとして考えてほしいです。
伊勢	安心 安全な 食生活が 送れること。輸入に 頼らず 国内自給を 高めること
伊勢	安全・安心・再生可能な生活に近づけるように。

#### 食の安全への批判・疑問

津	最近安全・安心なものを届けてもらっているとあまり思わなくなった。
津	生協らしい商品が少なくなってきたと痛感しています。「おいしくて安全なおはなし」欄の解説も、安全安心を前提にしているようで、本当に信じていいのかと思いながら読んでいます。クレーム対応は陣族丁寧で、消費者に寄り添う姿勢に常々好感を持っています。
四日市	遺伝子組み換えをはっきりわかるようになっていないと、食に安全は感じられない
伊勢	30年程前にはもう少し、安全な食品を、平和な世界をということに力が入っていたと思います。大きくなればいろんな考え方の人も多くなると思いますので、難しいのかわかりませんが、気候変動などで食があやぶまれています。これにも対処していくことが必要だと思います。

#### 食品ロス

四日市	ビジョン2:コンビニなど「商品を手前から」と見かけるようになり、奥から取っていたが、食べ物 の大切さに気づかされて、手前から取るようになった。
鈴鹿	地球温暖化により農水産業も影響を受ける今、フードロスなど食べ物を大切にいただく事が 「命も大切にすること」にもつながっていくと思いますが、なかなか実践は難しいですね。

#### 地産地消・食糧自給

桑名	地産地消が一番良いのでは。生活の場所は安全安心があり、事件や事故、災害のない事、地球の安全、戦争や争いのない平和な地球。
四日市	地産地消を意識して利用していますが、物価高についていけず、消費を控える日々が続いています。
四日市	色々なもの、食品を海外依存度を下げる政策が欲しい。日本国内生産を増加させるには、を 考えて欲しい。
鈴鹿	国産商品や地産地消 子育て支援にもっと積極性があると思う 組合員も参加できる体制が 有れば参加したい

#### 地域

桑名	子供達が安心して学んで遊べる場が出来れば
四日市	ビジョン達成の一步として地域で集える場所があれば活動を後押しできるのになあと 思います。もっと近くにコープのお店があればその一角でいろいろな事ができそうですね
四日市	ビジョン3:金銭面、役務の負担から、自治体からの脱退も多く、地域のまとまりがなくなっ ていくように思える。
鈴鹿	積極的に参加していないので、正直何もピンとこないです。地域も今だけいる場所と思っ ているので、関わる事はありません。
津	コープ独自の商品に好きなものが多いので、出来る限り継続して欲しいです。少子化の影響 で、ドライバーの確保が難しくなってくるかと思えます。地域連携を目指すのであれば、自治体 やご近所さんでグループでのグループ作りを推奨(現実的には難しいかもしれませんが、高齢 者や育児世代のコミュニケーション見守りの場になるかも)、職場などのグループ配達を推奨 していくのもひとつの手なのでは、と思えます。これからも応援しています。
津	地域とのつながりを大切にして、社会につなげてゆく まさにSDGs

#### 平和

四日市	平和であることが当たり前の世界だと認識する意識を持っている。
四日市	「平和への取り組み」は、他国の紛争に介入したり支援したりする事ではありません。紛争国 の一方を支援するのは、本邦が戦争に巻き込まれる理由にもなるので避けるべきです。
鈴鹿	近年「平和」が壊されていくような出来事が多く、本当に心配しています。平和を享受してきた 私たち世代は、せめて平和のバトンを次の世代に渡す責任があると思うのですが…。渡せる よう頑張ります。
鈴鹿	ロシアの侵攻以来、安心、安全平和への意識が強くなった
津	空襲経験者です。平和を切に望みます。

伊勢	平和な社会で、あってほしい。
伊賀	8/6.9の平和行進、京都で打ち上げで1回参加！生協主催 良い取り組み！

### 人とのつながり

桑名	アパート住まいになってから、近くの人たちとのつながりは全く感じていません。人とのつながりはすごく必要だと思います。
桑名	組合員ではない人も対象になるような取り組みが増えると尚良いと思います。
四日市	つながりあうことを建前では大切と言いながらも、本音では干渉されたくなく、深いつながりを求めないのが現代ではないかと思います。そこを上手くつなげていくことが生協の役割だと思います。
四日市	色々な方法があると思いますが、他者と繋がる事の大切さ必要性は日々感じています。
四日市	集いの場に参加できなくなっている
四日市	個配なので配達員さんとの出会いしかないが、会話の中で笑顔と安心感を感じる。時々コープに問い合わせの電話をするので、そこでつながりを感じる。
津	手を携える必要性が、痛感しました。
津	商・くらとか行くと、取り組みを感じる。
伊賀	食べ物と人とのつながりを大切にして、これからを生きるのは大切。

### 多様性

桑名	性別問わず、皆が幸せになれるように
桑名	うちには障害を持つ息子がいますが、社会人になると地域の人々と関わる場があまりなく、皆平等に生きられる世の中とは思えません。県や市での催しや集まりもあるが、コープさんでも参加しやすい場所や集まりを作って頂けたらと思います。食に関する情報がコープさんにはあり、知る機会となっています。より一層の情報をお願いします。
四日市	子育て、高齢者、年齢、障がい、ジェンダー、国際と分けないで、健康な人でも体調不良になる時はなるし、人それぞれ成長あるから、経験する機会がある、無しでもかわるから、できないから孤立させたり、簡単な作業だけさせるでなく。難しいけど頑張る、見守り、好きを伸ばしていける社会になってほしい
四日市	お互いの意見や価値観を尊重し合える社会になって欲しいし、したいと思っています。
四日市	あらゆる人が活躍できる社会になってほしいと思っています。
鈴鹿	誰ひとり残されないは難しいと思う。キチガイまで残されないようにされると、まともな人達が傷ついたり我慢することが増える。
鈴鹿	あらゆる人が活躍できる社会になってほしいと願います。
津	まだまだジェンダー平等やバリアフリーなど課題が多いと思う。
津	差別やいじめはなくなるらない。その中で一人一人がどう生きるか、考え続けていく必要があると思う。
松阪	差別のない、みんなが仲良く集まって過ごせる場所が増えたらと、思う、例えば、ここへ行けばスポーツ、違うところは、クッキングとか。

紀北	すべての人が自分らしく生きやすい社会になるためには、まず一人ひとりの考え方が差別や偏見のないジェンダーフリーになることが大事だと思います。
紀北	課題山積 でも諦めず一歩一歩進む事。自主的な特に女性の活動を応援して欲しい。今以上に。。組織内の男女格差をなくす事。男性の育児休業をどこよりも取りやすくする事。社会変革の手本になれるような組織づくりをしていきましょう。
伊勢	男女の差別なく お互いの意見を出して尊重しあえる世の中にかわって行って欲しいです

## 高齢化

桑名	一人暮らしの高齢者の移動について気になります。閉じこもりになり、うつ病、認知症、運動不足が多発するのでは。
桑名	歩行が不自由なため、1度に3つぐらい用事を持っていくが、疲れたり忘れてたりして再度出かける。「集い」等行きたいと思っても、遠いと大変なのであきらめが多い。
四日市	子育て世代だけでなく、高齢者も助けて欲しい
四日市	70歳代になって活動の場が少なくなってきました、健康面や交通便などで若い方と接する機会をどうしたらできるかな。
四日市	高齢者の1人ぐらしのものに見守りはありがたいと思います。
鈴鹿	高齢者の集まるイベントも今後あれば良いと感じる
鈴鹿	近くに買い物が老人には遠いので、生協さんは有難い 感謝
松阪	自分の住んでる地域では高齢化が進み、交通手段もなくなり 不安ばかりがつのる。明るい理念 ビジョンに期待する
松阪	高齢になり、宅配はありがたい。これからもよろしく。
伊勢	高齢者はどこへ相談をしていけばよいかわからない。
伊賀	新規加入です。近いうちに免許証を返納するので買い物難民になるのを心配していましたが、コープを教えてもらい、お世話になる事になりました。カタログを見るのも楽しみです。

## 環境問題・SDGs

桑名	世の中的に SDGs の取り組みが広がっている中、コープで SDGs の商品を利用することができるのでとても良いと思う。
鈴鹿	スーパーマーケット等、缶、紙、ダンボール等、リサイクル活動がある事。
津	兎に角まずは地球温暖化を阻止すべく環境を真剣に考えないといけないと思います。皆が少しずつでも何かアクションを起こせば現状を食い止めることはできるはず。意識をしっかりと持ちたいと思います。
松阪	具体的には、脱プラ、脱合成洗剤、脱農薬などを進めていくことかなあと思いました。
松阪	今一番にSDGsに取り組まないといけない時なのに、コープでもまだまだビニール袋を使っているのが悲しいです。もっともっと改善していかなければならないところがたくさんあります。まだわかっていない消費者に使い捨ての世の中を変えて居る陽アピールしていただきたいものです。コープがお手本になるように期待します。どんどん協力します。利益追求だけのコープは悲しすぎます。

## 価格・くらし防衛

鈴鹿	生協の活動がもっと周知できるよう組合員も意識を持つべきだと。大前提としてこれからも安全、安心、そしてこの物価高、リーズナブルな商品の企画をお願いします。
鈴鹿	値上がりラッシュで冷凍品の中身が減り、野菜類は新鮮ですが量が少なく、高く、家計を圧迫しております。消費者の為に、野菜、冷凍食品などが、コープ全体で努力して、少しでも安く届けて欲しいです！！
津	いいものを欲しくても、コープを利用したくても、なかなかできない人もみえるはず。私も今は利用できていますが、夫が亡くなったり、経済力がなくなれば無理です。理想はあって実現しにくい。まず無理ない範囲で地球に負担をかけない生活を心掛けたい。

## コープみえへの期待・激励

桑名	サービスが良く、美味しい食事を頂いております。
四日市	生活必需品が届く便利で安心な日々感謝です。
鈴鹿	生協の組合員が増え地域で生協がなければ困ると考える人が増えて欲しいです。
鈴鹿	今のまま、地域密着してやってください。
松阪	地元の商店(JA伊勢)が、2・3年でなくなると聞いている。生協に期待している。年配の方は、個別宅配のシステムが難解だと感じているようで、勧めているが気持ちが乗らないようです。
松阪	定期的に通院していますが、以前は食事のバランスが悪いと言われていましたが、最近は良いことばかり言われる様になり、とても感謝しています。ありがとうございます。
津	安心と親しみやすさを身近に感じています。
松阪	班購入です。「週1回、こうして寄るのが楽しみ・・・」と皆で言っています。物価の事、気候の事、畑の事、健康や家族の事など、気兼ねなしに頼み事もできます。班が減っていますが、いろいろな形での班再編の検討ができないでしょうか。
松阪	コロナでいろんなことを不安に思う中、コープの食品提供は安全・安心と感じ、心強かったです！
松阪	非常に努力されていると思います。

## その他

桑名	共済の先進特約が糖尿病でも付けられるようにしてほしい。高脂血症、脂質異常、高血圧は同意書があれば可能って差別ではないですか？
桑名	職員の権利がきちんと守られていないようです。特に桑名セットセンターのスタッフさんの権利が。労組も入り働きやすい職場にしてください。
四日市	毎日のくらしが、生活していく上で大事であると最近感じる事が多くなった。
四日市	日本は政治に関心がない人が多いのではないかと思う。平和ボケなのか、今の生活がほどほどに良ければそれで満足だと思っている社会のような気がする。
四日市	これに関係ないけどブドウを毎年購入しているが鮮度が悪い。いつも半分ぐらい落ちている。残念。

四日市	注文をこなすのに苦心しているのでは？チラシが多すぎる。本当に必要ですか？自分の足元を見つめてください。衣類、男性物、本当に少ないです。どんなチラシが欲しいか、一軒一軒聞いていますか？
四日市	弁当ですが、宅配のがすごくまずく、ある人も捨てていると言っていました。なんとかもっと美味しいものを作ってください。
四日市	自分が思う事が人と同じとはおもえないから 多くの人と関わることがいいとだとおもう
四日市	ドライバーの小林さんにはとても感謝して居ります。
四日市	その頃まで元気で生きておれば良いがと思う。コープみえの食事を食べて。
鈴鹿	個人主義は変わらない
津	商品をセンターに引き取りに行った際、台車を使えば早いのに階段になっていてすごく時間がかかった。スムーズに運べるようにしてほしい。
津	声を上げることが大事だと思う。
津	子育て支援
津	なんで10年後も愛される…なの？いつまでもではだめ？
津	健康
津	子供の個性を伸ばす
津	フルタイムで働いているので地域でのつながりはあまりなく、ビジョンアンケートには関われる事はほとんどありません。
松阪	原点回帰
松阪	配達の人にもいろいろおられ、話しやすい人、話しにくい人もみえますね。
松阪	年齢的に考える機会が増えた 進んで取り組んでいけるのはよいことだと思う
松阪	今までと変わらず、配達お願いします。
松阪	以前より扱いも増え、市販品が多くなった。
松阪	子供達が、どんな食事をしているかという事がわからないので、学校の献立プランも広報にのせていただいて、皆で考えると言う方向で進んでいったらどうでしょう
紀北	子どもの食事のバランスは学校給食ではバランスが良いが、各家庭ではわからない。
紀北	自分の言動や行動も気をつけていきたい
紀北	初回利用なのでサービスが気持ちよく利用できるかはわからない。
伊勢	みんなの和
伊勢	60代の私にとっては、10年後というのはスパンとして長いような気もしますが、これからも進歩し続けるコープとして、先を見据える取り組みは素敵だと思います。
伊勢	そういった社会に今よりは近づいて欲しい。
伊賀	将来の構想はわかりませんが、体に良いものを考えてください。何を食べても蕁麻疹が出て弱っています(2時間ぐらいでおさまりますが)。なるべく自然の物で出汁をとっておりますが、やっぱりですよ。
伊賀	今の子は好きなものばかり食べている気がします。